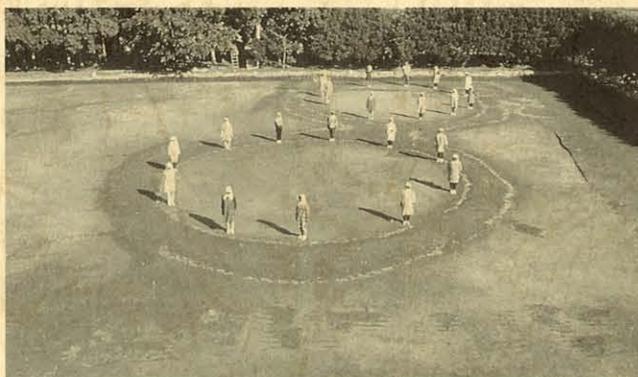


仙台市文化財調査報告書第204集

# 年 報 16

平 成 6 年 度



沼向遺跡 古墳確認状況

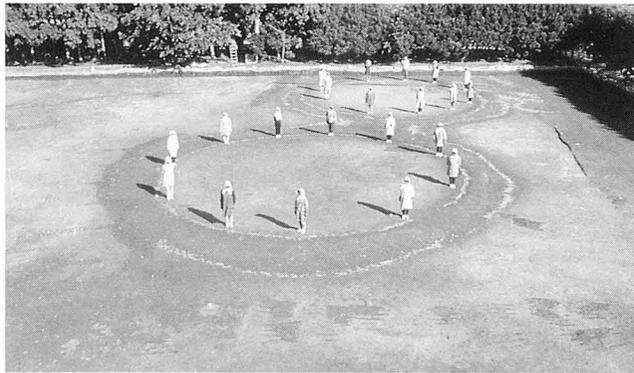
平 成 7 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

仙台市文化財調査報告書第204集

# 年 報 16

平 成 6 年 度



沼向遺跡 古墳確認状況

平 成 7 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

## 序 文

近年、全国各地で行われております大規模な遺跡の発掘調査により、新しい成果が次々と公表されておりますが、これに伴い、多くの皆様が遺跡を訪れ、文化財への理解を深めていただいておりますことは、文化財保護行政に携わるものとして大変喜ばしいかぎりであります。仙台市教育委員会でも、市内に残る貴重な文化財を保護し、後世に伝えるとともに、市民生活の中で親しんでいただけるよう、様々な角度から文化財保護事業の推進に取り組んでまいりました。

一般文化財関係では、今回新たに有形文化財資料の中から、雪村周継筆「瀟湘八景図」と高久靄厓筆と伝えられる「大年寺山真景図」の水墨画2点を仙台市指定有形文化財として指定いたしました。また、文化財めぐり、文化財講演会、文化財展、民俗芸能のつどい等、様々な市民参加行事を実施し、いずれもご好評いただきましたことは主催者として喜びに堪えません。

埋蔵文化財の発掘調査事業につきましては多くの皆様のご協力とご支援をいただきながら34件の野外調査、室内整理を行って参りました。燕沢遺跡では平安時代の寺院僧房の発見をはじめ、四郎丸館跡や仙台港背後地内の沼向遺跡では古墳時代初めの方形周溝墓の発見など、原始・古代の仙台の歴史がしだいに明らかになってまいりました。また、昭和63年の発見以来、全国的に注目されております富沢遺跡の旧石器時代遺構群につきましては、遺跡保存公開のための（仮称）富沢遺跡保存館建設工事が平成6年10月に着工し、平成8年秋のオープンを目指して進められております。

今後とも文化財保護行政に対しまして、市民の皆様のご支援とご助言を賜りますようお願い申し上げます、刊行のご挨拶といたします。

平成7年3月

仙台市教育委員会

教育長 坪 山 繁

# 目 次

序 文	
目 次	
例 言	
I 文化財の保護管理	1
II 文化財の普及啓発	4
III 埋蔵文化財の調査	8
IV 指定文化財一覧	26
職 員 録	
仙台市文化財調査報告書刊行目録	

# 例 言

1. 本書は仙台市教育委員会社会教育部文化財課が、平成6年度に実施した保護管理・普及啓発・埋蔵文化財調査の各事業に関する年度報告書である。
2. 本書の地形図は、建設省国土地理院発行五万分の一「仙台」を使用した。
3. 執筆は各担当が行い、編集は全員の協力のもとに木村浩二が行った。

# I 文化財の保護管理

## (1) 文化財の指定

仙台市教育委員会は、平成7年2月に仙台市文化財保護委員会に市指定の文化財について諮問し、その答申を受けて平成7年3月23日付で次の水墨画2件を新たに仙台市指定有形文化財に指定した。

### ① 有形文化財（絵画）

瀟湘八景図 雪村周継筆 六幅 室町時代

紙本墨画 掛軸装 (各130.0cm×51.8cm)

瀟湘八景図は、中国湖南省洞庭湖にそそぐ瀟水と湘水の合流する辺りの佳景を描いたものである。八景のうち「洞庭秋月」と「瀟湘夜雨」に該当する景色を特定することが難しいが、最初からそうであったのか或いは途中で失われたのかは不明である。

作者の雪村は、室町時代後期から桃山時代の画僧で、諱は周継。常陸国太田に生まれ関東・南東北地方を中心に活躍した。雪舟に私淑し、宋元画を学んだ。会津に住んだ後晩年は福島の三春に隠棲し、その地で没した。

落款には、「継雪村老翁図筆」とあり、巧みな濃淡の筆墨による描写は、晩年の雪村が到達した独自の画境を示すものである。

この作品は伊達家伝来品で、昭和26年に仙台市に寄贈された。引手の跡が残るところからかつては襖絵であったと思われるが、寄贈時には捲りの状態であり、昭和37年に軸仕立てにしたものである。

### ② 有形文化財（絵画）

大年寺山真景図 伝高久靄厓筆 一面 江戸時代

紙本墨画 額装 (25.1cm×131.0cm)

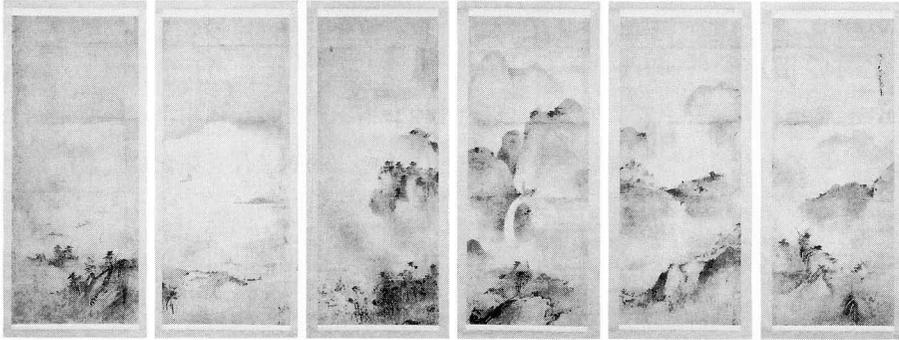
大年寺山真景図は、広瀬川を隔てて見た大年寺山を写生したもので、当時の情景を示す歴史資料ともなっている。文人の理想郷を描く抽象的な山水画と異なり、实景に基づいて描かれた真景図は、江戸時代後期の南画家を中心に流行した。

作者とされる靄厓(1796-1843)は、下野那須の人で、谷文晁に学び、明・清の画家の画を研究し、南画の巨匠と言われた文人画家である。

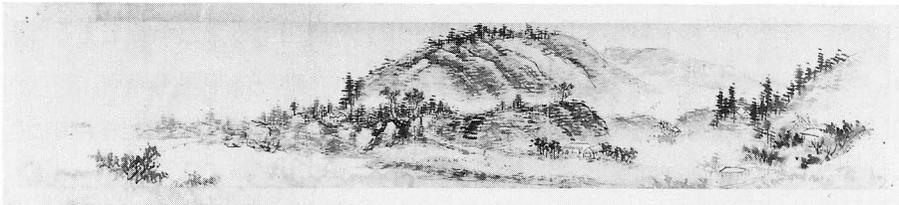
靄厓は、仙台を三度訪れ、土樋にあった歌人の一条家に泊まるのが常であった。

この作品は、「三太郎の日記」の著者で仙台市名誉市民の阿部次郎(1883-1959)が昭和初期に隣家の一条家から入手したもので、落款はないが、同時に入手した靄厓の作品の間にあったことから靄厓筆とされ、長く阿部家の二階の客間に掲げられていたことはよく知

られているところである。現在は仙台市博物館に寄託されている。



瀟湘八景図 雪村周継筆



大年寺山真景図 伝高久露厓筆

## (2) 仙台市文化財保護委員会

平成6年度は、仙台市文化財保護委員会の定例会を6回開催した。

日 程	議 題
4月26日	(1) 平成5年度文化財実施事業について (2) 平成6年度文化財事業計画について
6月14日	(1) 仙台市登録文化財制度について (2) 仙台市登録文化財候補目録について
8月9日	(1) 仙台市登録文化財候補目録について
10月18日	文化財現地視察 ① 山形城跡           ② 山形市旧済生館本館 ③ 山形県東村山郡中山町柏倉家住宅
12月20日	(1) 仙台市指定文化財候補について (2) 仙台市登録文化財候補目録について
2月7日	(1) 仙台市指定有形文化財の指定について（諮問） (2) 仙台市文化財保護条例の一部改正について (3) 平成6年度発掘調査報告

### (3) 補助事業

#### ① 陸奥国分寺跡及び陸奥国分尼寺跡買上

史跡の保護活用を図るため、陸奥国分寺跡地内の土地 2 件（695.05㎡）、陸奥国分尼寺跡地内の土地 1 件（249.24㎡）を公有化した。

#### ② 有形文化財補助

指定文化財の保存修理のため次の事業に対して補助を実施した。

- ・大崎八幡神社管理事業（社殿漆塗修理、防災設備保守点検）
- ・東照宮管理事業（透塀漆塗修理、防災設備保守点検）
- ・陸奥国分寺薬師堂管理事業（防災設備保守点検）
- ・荘厳寺山門解体修理事業

#### ③ 無形文化財補助

伝統的な工芸技術である宮城県指定無形文化財「精好仙台平技術」の保持事業に対し補助を実施した。

#### ④ 無形民俗文化財補助

民俗芸能の後継者養成等の保持事業及び大道具製作補修事業に対し補助を実施した。

##### ・民俗芸能保持事業補助

秋保（湯元、長袋、馬場）の田植踊、大崎八幡神社の能神楽、愛子の田植踊、大倉の役人田植踊、新川の田植踊、芋沢の田植踊、下倉の田植踊、川前の鹿踊・剣舞、野口の鹿踊、滝原の颯拝、福岡の鹿踊・剣舞、馬場愛宕神社神楽、上谷刈の鹿踊・剣舞、大沢の田植踊、榊流青麻神楽、生出森八幡神楽 18団体

##### ・大道具等製作補修補助

湯元の田植踊、生出森八幡神楽

### (4) 文化財の管理

#### ① 史跡等の維持管理

遠見塚古墳、陸奥国分寺跡、山田上ノ台遺跡、富沢遺跡、三沢初子の墓など、松森焰硝蔵跡等について、定期的に除草清掃を実施した。

#### ② 史跡等の現状変更

現状変更の内容としては、史跡陸奥国分寺跡の污水管交換、照明灯の建替、史跡経ヶ峯伊達家墓所の歩道整備、電話支線設置、史跡岩切城跡の公園環境整備、天然記念物苦竹のイチョウの樹勢維持管理、特別天然記念物カモンカの滅失 8 件などであった。

### ③ 文化財防火デー

第41回文化財防火デーに際し、1月26日を中心に仙台市消防局と連携して、管轄消防署による指定建造物の特別査察や、地域住民等の協力を得て、防災訓練等を実施した。

### ④ 伝統工芸新作展

地域の伝統工芸作家の保護育成のため、伝統工芸新作展を宮城県教育委員会等と共催した。

## (5) 文化財の調査

太白区内の文化財分布調査を実施し、太白区文化財分布地図を発行した。

## II 文化財の普及啓発

市民の文化財に対する理解と認識を深め、文化財保護思想の啓発を図るため次の事業を実施した。

### (1) 説明板、標柱の設置

説明板	名 称	種別	設 置 場 所
	鹿野の古墳	新設	太白区鹿野一丁目9
	郡山遺跡	新設	太白区郡山五丁目10
	落合観音堂	新設	太白区四郎丸字落合60
	苦竹のイチョウ	再建	宮城野区銀杏町7
標 柱	朝鮮ウメ	再建	若林区古城二丁目3

### (2) 文化財パンフレット等の発行

- ① 「広報文化財」第49号、第50号、第51号 各13,000部
- ② 文化財パンフレット第36集 「古墳を築いた人々ー古墳時代ー」 5,000部
- ③ 文化財パンフレット第35集 「辻標」増刷 4,000部
- ④ 文化財パンフレット第29集 「仙台の民俗芸能」増刷 2,000部

### (3) 文化財めぐり

テーマ：「仙南地方の文化財をめぐる」 平成6年9月10日(土)

行 先： 角田市郷土資料館、高蔵寺、旧佐藤家住宅、斎理屋敷、台町古墳群

講 師： 遠藤 久七氏（角田市郷土資料館長）、佐藤 芳彦氏（高蔵寺住職）

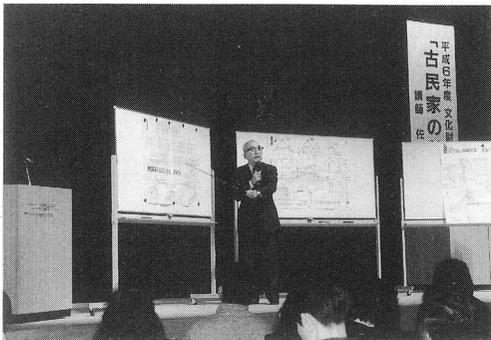
志間 泰治氏（郷土史家）

#### (4) 第36回文化財講演会

テーマ：「古民家の魅力」平成6年11月5日(土) 仙台市福祉プラザ ふれあいホール  
講師：佐藤 巧氏 仙台市文化財保護委員会副委員長

#### (5) 第9回民俗芸能のつどい

ー伝承される人々の心ー 平成7年3月11日(土) 市民会館小ホール  
出演：湯元の田植踊、榊流青麻神楽、滝原の顕拝、保柳神楽（古川市）  
解説：千葉 雄市氏 仙台市文化財保護委員会委員  
民俗芸能の記録保存のため、「第9回民俗芸能のつどい」のビデオ撮影を実施した。



第36回 文化財講演会



第9回 民俗芸能のつどい

#### (6) 親子縄文教室

7月9日(土)、7月17日(日)、8月20日(土)の3日間の予定で、泉市民センター、富沢整理室敷地を会場として実施した。市内の小学6年生の親子27組に、縄文講座、土器作りを体験して頂いた。第3日目に予定していた土器焼きは度重なる雨天のため、職員が後日行った。



親子縄文教室 講座「体感！縄文時代」



親子縄文教室 縄文土器づくり

(7) 第21回文化財展－古墳時代展－

12月10日(土)～12月14日(水)の5日間、東北電力グリーンプラザにて実施した。「古墳を築いた人々」をテーマに、古墳の副葬品・多種の土器・木製品等の出土遺物と、写真・イラスト・解説パネル等の展示を行った。短期間の中、2000名にも及ぶ市民の方々が会場を訪れた。

(8) 第21回文化財展記念講演会

12月10日(土)、141ビル5階セミナーホールにおいて実施した。講師に明治大学教授で古墳時代研究の第一人者である大塚初重氏をお迎えし、「古墳が語る仙台の歴史」をテーマに約2時間にわたり講演して頂いた。160名の市民の方々が来場し、講演に熱心に耳を傾けていた。



第21回文化財展



第21回文化財展記念講演会

(9) 第22回文化財展－発掘この一年－

3月16日(土)～3月24日(金)の9日間、青葉地下道ギャラリーに於いて実施した。今年度実施した14遺跡の発掘調査成果・普及啓発事業について、写真パネルを中心に市民の方々に紹介した。

(10) 遺跡見学会・発掘体験学習

遺跡の発掘調査現場を見学してもらう遺跡見学会や、実際に発掘調査を体験してもらう発掘体験学習を、学校、市民センター等を対象に実施して。

遺跡見学会	5月24日	大野田遺跡	長町南小学校社会学級
	5月27日	遠見塚古墳	高森中学校
	5月30日	富沢遺跡	長町南小学校
	7月15日	大野田・元袋遺跡	北上市埋蔵文化財センター
	7月29日	富沢遺跡	富沢中学校
	7月29日	富沢遺跡	仙台市中学校社会科研究会
	9月3日	洞ノ口遺跡	中世都市研究会

	9月20日	郡山遺跡	郡山中学校
	10月4日	洞ノ口遺跡	中山中学校両親学級
	10月11日	大野田遺跡	郡山中学校両親学級
	10月18日	大野田遺跡	東北福祉大学博物館実習
	10月20日	大野田遺跡	街道探訪会
	10月28日	大野田遺跡	柏木市民センター
整理室見学	6月6日	泉埋蔵文化財整理室	七北田児童センター
	1月18日	高砂埋蔵文化財整理室	北上市埋蔵文化財センター
発掘体験学習	9月13日	大野田遺跡	長町南小学校
	11月16日	大野田遺跡	山田中学校

#### (11) 記者発表・現地説明会

発掘調査成果の公開を、報道各社を対象に行う記者発表や市民対象に行う現地説明会を以下のとおり実施した。

大野田遺跡	記者発表	4月20日	現地説明会	4月23日
相ノ原遺跡			〃	6月11日
富沢遺跡	〃	7月7日	〃	7月9日
洞ノ口遺跡	〃	10月6日	〃	10月8日
沼向遺跡	〃	12月1日	〃	12月3日
燕沢遺跡	〃	12月8日	〃	12月11日

### Ⅲ 埋蔵文化財の調査

#### 1. 調査一覧

国庫補助事業としては郡山遺跡及び仙台平野の遺跡群として燕沢遺跡の発掘調査を実施した。

受託事業としては四郎丸館跡、中田南遺跡、下ノ内浦遺跡、洞ノ口遺跡、今泉遺跡、沼向遺跡、富沢遺跡4件の計10件を調査した。

自主事業としては郡山遺跡、大野田遺跡、元袋遺跡、南小泉遺跡、春日社古墳、相ノ原遺跡、富沢遺跡の計7件を調査した。

他に整理事業及び報告書刊行として7件ある。

#### 平成6年度文化財課調査事業一覧

遺跡名	所在地	調査事由	調査期間	調査面積	内容	調査担当
郡山遺跡	太白区郡山	国庫補助15年目	4/19～1/10	760㎡	飛鳥～奈良 官衙・寺院跡	長島・熊谷
仙台平野の遺跡群	宮城野区燕沢	国庫補助14年目	11/4～12/27	400㎡	奈良～近世 寺院跡	長島・熊谷
大野田遺跡	太白区大野田	都市計画道路建設	4/4～12/22	4,500㎡	縄文～平安 祭祀・集落跡	小川・主浜他4名
元袋遺跡	太白区大野田	都市計画道路建設	7/4～12/26	360㎡	弥生～近世 水田・集落跡	小川・主浜・川名
南小泉遺跡	若林区遠見塚	公共施設建設	4/13～7/20	1,000㎡	古墳 集落跡	五十嵐・渡部(純)・篠原
四郎丸館跡	太白区四郎丸	宅地造成	4/11～6/30	1,100㎡	古墳～近世 墳墓・城館跡	渡部(純)・竹田
中田南遺跡	太白区中田	宅地造成	12/1～12/22	210㎡	平安～中世 畑・集落跡	太田・三塚
下ノ内浦遺跡	太白区長町南	共同住宅建設	4/18～9/26	548㎡	縄文～近世 水田・集落跡	斎野・神成・渡部(純)
春日社古墳	太白区大野田	土地区画整理事業	9/19～10/28	230㎡	古墳	五十嵐・渡部(純)
洞ノ口遺跡	宮城野区岩切	土地区画整理事業	4/11～12/26	5,200㎡	平安～中世 水田・城館跡	佐藤(甲)・佐藤(幹)・平間
今泉遺跡	若林区今泉	宅地造成	7/4～10/20	290㎡	弥生～近世 集落・城館跡	渡部(純)・竹田・三塚
相ノ原遺跡	太白区坪沼	市道建設	4/18～7/8	1,000㎡	縄文～平安 集落跡	工藤(信)・佐藤(幹)
沼向遺跡	宮城野区中野	仙台港背後地土地 区画整理事業	9/1～3/15	5,000㎡	弥生～平安 水田・墳墓 集落跡	佐藤(甲)・竹田
富沢遺跡	太白区長町南他	店舗建設及び住宅 建設等	4/12～12/26	2,266㎡	旧石器～近世 森林・水田跡	太田・佐藤(甲)他6名

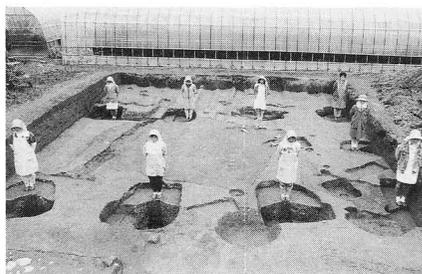
### (1) 郡山遺跡

- |         |                   |         |             |
|---------|-------------------|---------|-------------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区郡山3丁目地内外    | 4. 調査原因 | 遺跡範囲確認調査    |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月19日～7年1月10日 |         | 市道拡幅に伴う事前調査 |
| 3. 調査面積 | 760㎡              | 5. 調査員  | 長島榮一、熊谷裕行   |

第3次5ヶ年計画の5年次にあたり、I期官衙南西域、II期官衙政庁域南辺付近の遺構確認を目的として調査を計画した。また市道拡幅に伴う事前調査を実施した。調査の結果、I期官衙の西辺を区画するとみられる材木列抜き取り溝を1条、総柱建物跡1棟、II期官衙に伴う掘立柱建物跡3棟などを検出した。しかし政庁域南辺の区画施設は検出されなかった。



郡山遺跡



II期官衙政庁建物跡

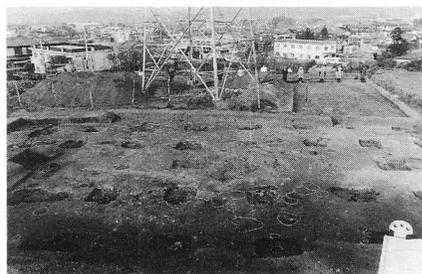
### (2) 燕沢遺跡－第8次調査－

- |         |                  |         |           |
|---------|------------------|---------|-----------|
| 1. 調査地  | 仙台市宮城野区燕沢3丁目地内   | 4. 調査原因 | 遺跡範囲確認調査  |
| 2. 調査期間 | 平成6年11月4日～12月27日 | 5. 調査員  | 長島榮一、熊谷裕行 |
| 3. 調査面積 | 400㎡             |         |           |

七北田丘陵の東端に位置する遺跡である。第8次調査は丘陵のほぼ頂上部に位置し、標高は約32mである。調査の結果、掘立柱建物跡1棟・柱列1列・竪穴遺構2基・溝跡6条・土坑1基・ピットなどを検出した。掘立柱建物跡は柱穴の配置から寺院の僧房と考えられ、平安時代には寺院が存在していたことが初めて明らかになった。



燕沢遺跡

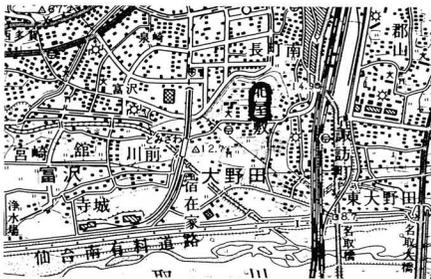


寺院僧房建物跡

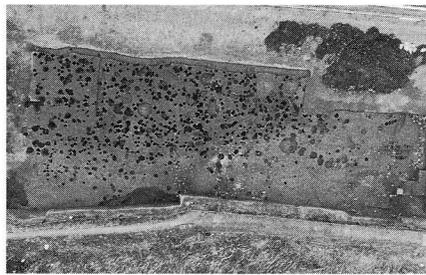
### (3) 大野田遺跡

- |         |                 |         |           |
|---------|-----------------|---------|-----------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区大野田字袋東・袋前 | 4. 調査原因 | 都市計画道路建設  |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月4日～12月22日 | 5. 調査員  | 主浜、小川、赤澤  |
| 3. 調査面積 | 約4,500㎡         |         | 川名、高橋、五十嵐 |

名取川の北方約1kmの自然堤防上に立地している。昨年度から調査している縄文時代から中世までの複合遺跡である。中世は掘立柱建物跡、古代は竪穴住居跡・畑跡が検出された。縄文時代後期前半の遺構や遺物包含層・河川跡からは多量の土器や石器・骨角器などの他に、約270点もの土偶が出土している。また、配石遺構・配石墓・土壇墓・埋設土器遺構や、多くの土壇・柱穴群も検出され、この地が墓地でありかつ祭祀(まつり)の場でもあることがわかった。



大野田遺跡



縄文時代の柱穴群と土壇

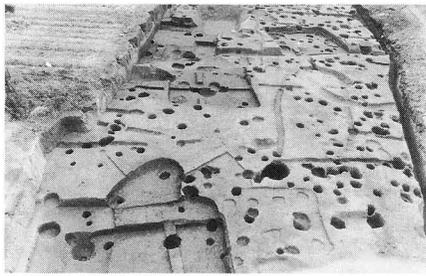
### (4) 元袋遺跡

- |         |                |         |           |
|---------|----------------|---------|-----------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区大野田字元袋   | 4. 調査原因 | 都市計画道路建設  |
| 2. 調査期間 | 平成6年7月4日～12月6日 | 5. 調査員  | 主浜光朗、小川淳一 |
| 3. 調査面積 | 約360㎡          |         | 川名秀一      |

大野田遺跡の北側に隣接して立地する遺跡で、標高は約10m前後である。昨年度に引き続いて調査を行い、中世から近世にかけての堀跡や井戸跡、掘立柱建物の柱穴、中世の火葬跡や土坑が検出され、さらに下層からは奈良時代から平安時代にかけての竪穴住居跡・溝跡・畝跡等が検出された。遺構からは中世陶器や土器の他に、漆器やフイゴの羽口等が出土している。



元袋遺跡

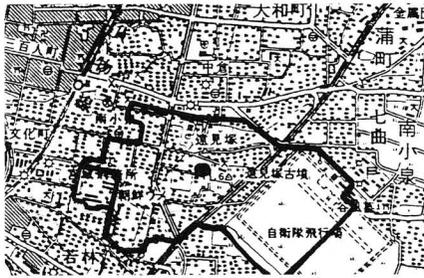


調査区全景

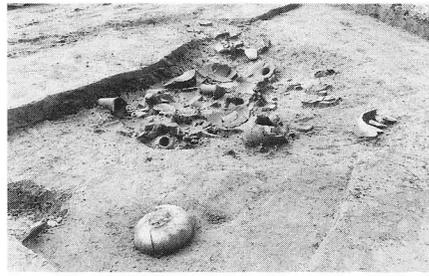
## (5) 南小泉遺跡

- |         |                   |         |                    |
|---------|-------------------|---------|--------------------|
| 1. 調査地  | 仙台市若林区遠見塚1丁目22番地外 | 4. 調査原因 | 公共施設建設             |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月13日～7月20日   | 5. 調査員  | 五十嵐康洋、渡部 紀<br>篠原信彦 |
| 3. 調査面積 | 約1,000㎡           |         |                    |

広瀬川北岸の自然堤防上に立地しています。今まで各地点で調査が行われてきており、今年度の調査は第25次調査にあたります。今回は道路部分の調査で、竪穴住居跡や、溝跡、井戸跡などが見つかりました。特に溝跡からは、古墳時代の土器がたくさん見つかりました。また、石で作られた剣や鏡の模造品も多く見つかりました。



南小泉遺跡



溝跡から土器の出土している様子

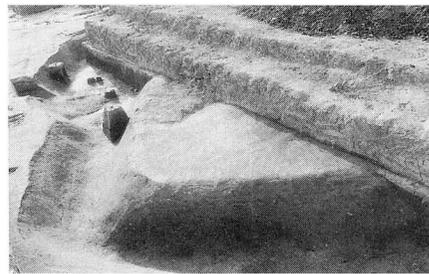
## (6) 四郎丸館跡

- |         |                    |         |           |
|---------|--------------------|---------|-----------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区四郎丸字戸ノ内93番地外 | 4. 調査原因 | 宅地造成      |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月11日～6月30日    | 5. 調査員  | 渡部弘美、竹田幸司 |
| 3. 調査面積 | 約1,100㎡            |         |           |

名取川北岸の標高3.5mほどの自然堤防に立地している。近世の溝跡・井戸跡、中世の城館に伴う土坑・畠跡・井戸跡・溝跡、平安時代の住居跡・掘立柱列・畠跡・土坑・溝跡、古墳時代前期の方形周溝墓などが検出されている。方形周溝墓からは底部穿孔の土師器壺と坏が出土している。平安時代の住居跡からは灯明皿に使用した坏が3点出土している。



四郎丸館跡



方形周溝墓全景

### (7) 中田南遺跡

- |         |                      |         |           |
|---------|----------------------|---------|-----------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区中田七丁目          | 4. 調査原因 | 宅地造成      |
| 2. 調査期間 | 平成6年12月1日～平成6年12月22日 | 5. 調査員  | 太田昭夫・三塚 靖 |
| 3. 調査面積 | 約210m <sup>2</sup>   |         |           |

名取川から南へ約1.7km、標高7mほどの自然堤防上に立地している。調査の結果、古代から中世にわたる遺構や遺物が発見された。遺構としては、小溝状遺構群・溝跡・井戸跡などが検出され、その中からは、土師器・陶器・木製品などの遺物が出土した。小溝状遺構群は平安時代の畝跡と考えられ、中世の井戸跡からは、白石窯産と思われる大甕も出土している。



中田南遺跡

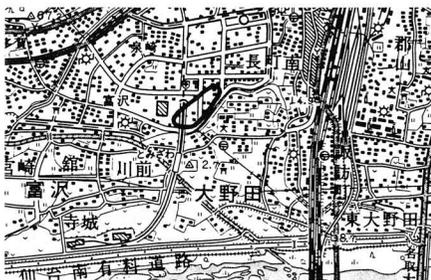


作業風景

### (8) 下ノ内浦遺跡

- |         |                     |         |                   |
|---------|---------------------|---------|-------------------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区长町南四丁目32-1    | 4. 調査原因 | 共同住宅建設            |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月18日～平成6年9月26日 | 5. 調査員  | 斎野裕彦、神成浩志<br>渡部 紀 |
| 3. 調査面積 | 548m <sup>2</sup>   |         |                   |

名取川の支流、笹川の左岸の自然堤防上に立地する。縄文から江戸時代の遺構・遺物が発見されている。調査の結果、平安時代以降の水田跡（1時期）、平安時代の水田跡（3時期）、平安時代の小溝状遺構群・土坑・溝跡、奈良～平安時代の畝跡、奈良時代の掘立柱建物跡・小溝状遺構群・溝跡などが検出された。その結果、この地区の土地利用の変遷が明らかになった。



下ノ内浦遺跡



第7a層上面遺構群（奈良時代）

### (9) 春日社古墳

- |         |                  |         |            |
|---------|------------------|---------|------------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区大野田字宮      | 4. 調査原因 | 土地区画整理事業   |
| 2. 調査期間 | 平成6年9月19日～10月28日 | 5. 調査員  | 渡部 紀、五十嵐康洋 |
| 3. 調査面積 | 約230㎡            |         |            |

名取川北岸の自然堤防に立地している。大野田古墳群の中で、もっとも規模の大きな古墳である。今年度は試掘調査を行った。墳頂部からは、主体部と葺き石が検出された。主体部は約2×1mの長方形で、石棺と考えられる板石が数点見られたが、盗掘を受けているようである。葺き石は北東部に多く分布している。周溝の状況から、円墳と考えられる。



春日社古墳他



調査風景

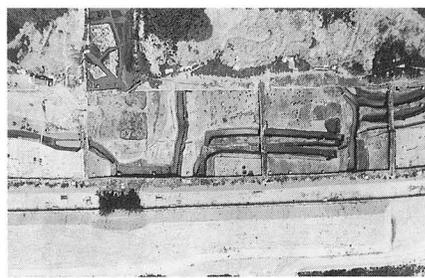
### (10) 洞ノ口遺跡

- |         |                      |         |                   |
|---------|----------------------|---------|-------------------|
| 1. 調査地  | 仙台市宮城野区岩切字洞ノ口        | 4. 調査原因 | 土地区画整理事業          |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月11日～平成6年12月26日 | 5. 調査員  | 佐藤 洋、平間亮輔<br>佐藤 淳 |
| 3. 調査面積 | 約5,200㎡              |         |                   |

昨年度に続いて中世の城館の調査を行った。外堀や城館内部を区画する多数の堀跡の他、これらの堀で区画された各曲輪の内部では多数の掘立柱建物跡・井戸跡・土坑・溝跡等を検出した。遺物の中では漆器・木簡・塔婆等、多数の木製品が注目される。なお下層からは中世前半と平安時代の水田跡や畠跡の他、竪穴住居跡・掘立柱建物跡・溝跡等が検出されている。



洞ノ口遺跡

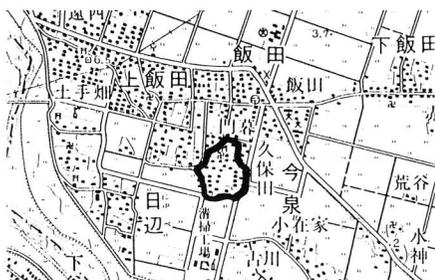


洞ノ口遺跡

### (11) 今泉遺跡

- |         |                 |         |           |
|---------|-----------------|---------|-----------|
| 1. 調査地  | 仙台市若林区今泉二丁目地内   | 4. 調査原因 | 宅地造成      |
| 2. 調査期間 | 平成6年7月4日～10月20日 | 5. 調査員  | 渡部弘美、竹田幸司 |
| 3. 調査面積 | 約290㎡           |         | 三塚 靖      |

名取川北岸の標高3.5m前後の自然堤防上に立地する城館跡を中心とする遺跡である。今回の調査では弥生時代の土器棺墓、平安時代の土坑・溝跡、中世の火葬遺構・井戸跡・溝跡が検出され、弥生時代から近世までの遺物が出土している。なお、調査区南側で東西に延びる幅8m以上の大溝を検出している。位置・規模から城館の外堀跡と考えられる。



今泉遺跡



調査区全景

### (12) 相ノ原遺跡

- |         |                |         |            |
|---------|----------------|---------|------------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区坪沼字相ノ原地内 | 4. 調査原因 | 市道建設       |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月18日～7月8日 | 5. 調査員  | 工藤信一郎、佐藤 淳 |
| 3. 調査面積 | 約1,000㎡        |         |            |

遺跡は赤石橋近くの名取川南岸の河岸段丘上に立地し、平成2年度に実施した1次調査では平安時代の竪穴住居跡1軒、石組の溝跡などが発見された。今回発見された遺構は同時期の竪穴住居跡7軒に加え、段丘縁辺部で縄文時代後期を中心とした多くの土坑や遺物包含層があり、出土した遺物は土師器、須恵器、縄文土器のほか、多数の石器や、土偶などの土製品がある。



相ノ原遺跡

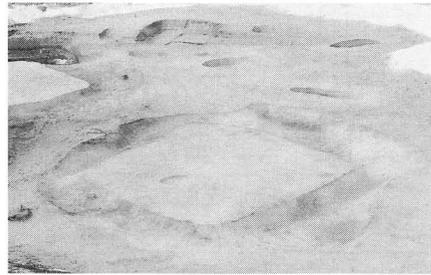


平安時代の竪穴住居跡

### (13) 沼向遺跡

- |         |                          |         |           |
|---------|--------------------------|---------|-----------|
| 1. 調査地  | 仙台市宮城野区中野字沼向126外         | 4. 調査原因 | 土地区画整理事業  |
| 2. 調査期間 | 平成6年9月1日～平成7年3月16日       | 5. 調査員  | 佐藤甲二、竹田幸司 |
| 3. 調査面積 | 本調査：約3,000㎡ 試掘調査：約1,350㎡ |         |           |

仙台市の北東端、仙台新港北方約500mの砂堤上に立地する。標高は1.6m前後で、北側谷地部分との比高差は、約1mである。古墳時代前期の住居跡1棟・方形周溝墓3基・土坑10数基、これらより新しい円墳が6基以上（内3基調査）、平安時代以降の畝耕作痕などが検出された。また、北側谷地部分の試掘調査では、平安時代以前の4期の水田跡が検出された。



方形周溝墓と土坑群

### (14) 富沢遺跡（第86・88・89・90・91次調査）

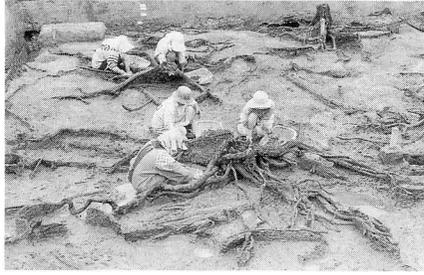
- |         |                  |         |             |
|---------|------------------|---------|-------------|
| 1. 調査地  | 仙台市太白区長町・長町南地区   | 4. 調査原因 | 店舗および住宅建設など |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月12日～12月26日 | 5. 調査員  | 太田昭夫、佐藤甲二   |
| 3. 調査面積 | 2,266㎡           |         | 斎野裕彦、中富 洋   |
|         |                  |         | 神成浩志、三塚 靖   |
|         |                  |         | 五十嵐康洋、川名秀一  |

仙台市南東部の、広瀬川と名取川およびその支流の笹川に挟まれた、標高10m前後の後背湿地を中心に立地する遺跡である。今年度は5地点で調査が実施され、主に弥生時代・平安時代・中～近世の水田跡が調査された。また、88次と90次ではさらに下層において後期旧石器時代の調査も行なわれた。90次は30次調査の追加調査であり、今回の調査では生活跡は発見されなかったが、以前の調査と同様に樹木群が検出され、数々の植物化石なども発見された。

88次は、30次調査の北北東約100mの地点であり、ここでも30次と対応する層から樹木群が検出され、森林跡の広がり確認された。また、ここではさらに下層において焼き火跡と考えられる炭化物片集中箇所も発見された。



富沢遺跡



第88次調査 旧石器時代の樹木群

次数	所在地	調査の原因	調査期間	調査面積	調査概要(主な発見遺構)	文献
86	長町七丁目20-1	店舗建設	平成6年4月13日～8月5日	約880㎡	時期不明の井戸跡、平安時代の水田跡3時期、弥生時代の水田跡、土坑など	
88	長町南四丁目1-3	共同住宅建設	平成6年4月12日～8月5日	621㎡	近世の土坑、中～近世の水田跡、旧石器時代の遺構(炭化物片集中箇所)、樹木群など	第203集
89	長町南三丁目17-1	社宅建設	平成6年7月15日～11月18日	343㎡	時期不明の水田跡、近世の水路、縄文時代後期・晩期相当の自然堆積層など	第203集
90	長町南四丁目3	富沢遺跡保存館建設	平成6年10月3日～10月19日 11月17日～12月26日	416㎡	旧石器時代の樹木群など 中世・平安・古墳時代の水田跡	
91	長町南一丁目208-1	共同住宅建設	平成6年10月13・14日	6㎡	断面観察のみ、水田土壌と考えられる層を12層確認	本書

平成6年度 富沢遺跡調査一覧

## 2. 試掘調査一覧

\*は平成5年度届出・通知

No.	遺跡名	担当者	実施日	受付番号	結果	備考
1	山口遺跡	結城	5/24	* 113	遺構・遺物なし	
2	神明社裏遺跡	篠原	11/24	* 248	遺構・遺物なし	
3	相ノ原遺跡	結城	5/16	* 250	遺構・遺物なし	
4	砂押Ⅱ遺跡	篠原	4/11	* 251	遺構・遺物なし	
5	人来田B遺跡	篠原	6/29	3	遺構・遺物なし	
6	富沢清水遺跡	結城	6/28	25	遺構・遺物なし	
7	陸奥国分尼寺跡	篠原	7/ 4	45	版築状遺構	7/4~5 本調査
8	山口遺跡	篠原	6/22	48	遺構・遺物なし	
9	貴富祢遺跡	篠原	6/27	50	溝跡1条	
10	人来田遺跡	結城	8/23	61	遺構・遺物なし	
11	茂ヶ崎城跡	篠原	7/11~13	66	基礎地業跡	
12	長町南遺跡	篠原	7/19	68	遺構・遺物なし	
13	富沢遺跡	篠原	7/26	78	遺構・遺物なし	
14	安養寺配水場窯跡	篠原	12/21	81	窯跡の灰原、須恵器 平瓦	平成8年度本調査予定
15	野川遺跡	篠原	12/ 7・ 8	89	遺構・遺物なし	
16	堤町瓦窯跡	篠原	8/ 3	100	遺構・遺物なし	
17	内城Ⅰ遺跡	篠原	12/19・20	105	Tピット1基	
18	梅塚古墳	篠原	11/ 4	128	周溝なし	
19	郡山遺跡	長島	1/ 9~12	146	平安時代の水田跡	
20	山田条里遺跡	篠原	11/14	147	遺構・遺物なし	
21	郷六遺跡	篠原	12/12	150	遺構・遺物なし	
22	上野遺跡	篠原	10/11	153	遺構・遺物なし	
23	上野遺跡	結城	11/28・29	162	遺構・遺物なし	
24	新坂下板碑群	篠原	12/ 1	170	遺構・遺物なし	
25	南小泉遺跡	篠原	11/28	175	竪穴住居跡、溝跡	平成8年度本調査予定
26	館・新庄・上河原遺跡	篠原	3/ 8~23	187	竪穴住居跡、溝跡、 土師器、須恵器	本調査
27	三神峯遺跡	篠原	12/15	198	土坑?1基	建設場所変更
28	上野遺跡	結城	2/24	215	遺構・遺物なし	
29	上野遺跡	篠原	1/10	225	遺構・遺物なし	
30	窪遺跡	結城	2/23	237	遺構・遺物なし	
31	上野遺跡	篠原	3/ 8	245	遺構・遺物なし	

### 3. 本調査報告

#### 富沢遺跡第91次調査

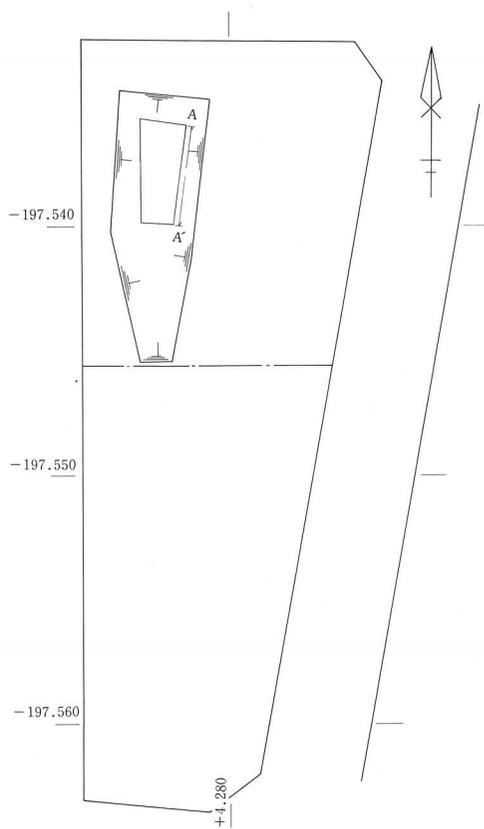
1. 調査地点 仙台市太白区長町南一丁目208-1
2. 調査期間 平成6年10月13・14日
3. 調査面積 6 m<sup>2</sup>
4. 調査員 太田昭夫
5. 調査の概要

店舗付共同住宅建築に伴う発掘調査である。調査については、敷地面積および計画されている建物面積が狭く、また、区画整理時の盛土が厚いことなどもあり、安全確保のために平面調査は行わず、土層断面観察のみの調査とした。そして、掘り下げは全て重機で行った。なお、調査地点は富沢遺跡第49次調査のNo.6地点（佐藤：1990）のすぐ東側に位置しており、土層の観察においては主に第49次調査の層序との比較・検討を行った。

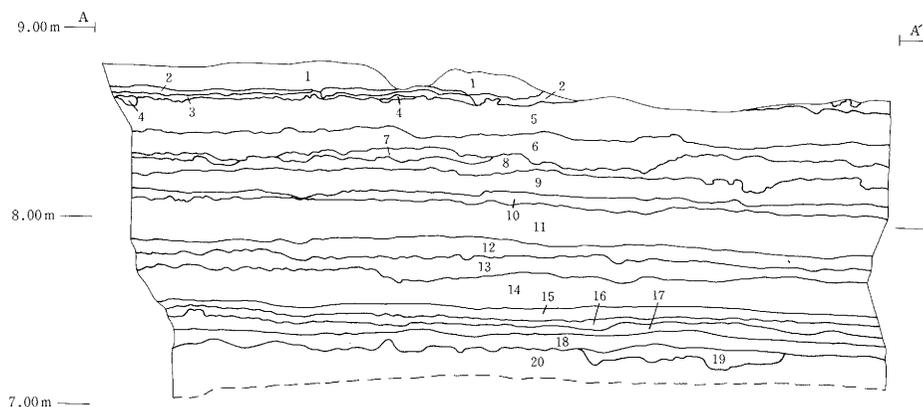
層序は盛土下から標高約7 mまで計20層が確認された。各層の土性は1・2層が粘土質シルト、3～10層が粘土、11～19層は粘土か泥炭質粘土であり、下層になるにしたがい泥炭質の土層が多くなっている。そして20層で泥炭層が挟入する層となる。こうした層序は第49次調査の第5・6地点の層の状況と若干の差異はあるものの基本的には共通しており、大部分が対応関係をもつことが確認された。断面からは明瞭な畦畔状の高まりは確認されなかったものの、これらの層の中で、現代の耕作土の1層を除く2～6、8・10・12・13・15・18・19の各層において下面に細かな起伏が認められ、また、4・6・8・10・15・18



第1図 調査地点位置図



第2図 調査区平面図



第3図 基本層序セクション図

層序	土色	土性	粘性	層厚(m)	備考	49次の層序
1	灰色 (7.5Y4/1)	粘土質シルト	ややあり	15	現代の水田耕作土。下面に酸化鉄斑紋の集積あり。	1
2	灰色 (10Y4/1)	〃	〃	4	水田耕作土? 層中に酸化鉄斑紋を多く含んでいる。下面の起伏顕著。	2
3	黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土	あり	4	水田耕作土? 上面の一部に酸化鉄斑紋の集積あり。下面の起伏顕著。	3 a
4	黒色 (10YR2/1)	〃	〃	3	水田耕作土? 部分的に分布。黄灰色のブロックを多く含む。	3 b
5	黄灰色 (2.5Y6/1)	〃	〃	20	水田耕作土? 層厚は安定している。層の下部から下面にかけて灰白色火山灰ブロックを全般に含む。酸化鉄斑紋わずか、下面起伏顕著。	4 a
6	黄灰色 (2.5Y4/1)	〃	強粘性	10~15	水田耕作土? 酸化鉄斑紋糸根状に含む。下部にぶい黄色の粘土ブロック混在、下面の起伏、顕著。	4 c
7	にぶい黄色 (2.5Y6/3)	〃	〃	4~8	自然堆積層? 酸化鉄斑紋糸根状に含む。	
8	黄灰色 (2.5Y4/1)	〃	〃	6~20	水田耕作土? 層中に灰黄色の粘土ブロック多く含む。酸化鉄斑紋下面付近に多量に集積。下面起伏顕著。	5 a
9	黒褐色 (2.5Y3/1) 暗灰黄色 (2.5Y5/2)	〃	〃	12	自然堆積層。互層をなす。	6 a
10	褐色灰色 (10YR4/1)	〃	〃	6	水田耕作土 酸化鉄斑紋わずかに含む。層中に下層の小ブロックを多く含む。下面起伏あり。	6 b
11	黒色 (10YR1.7/1) 黒色 (10YR2/1) 灰黄色 (2.5Y6/2)	泥炭質粘土 粘土	ややあり あり あり	20	自然堆積層、互層をなす 層厚はそれぞれ異なる。細かなラミナ状をなす所もあり。	8 b
12	暗灰黄色 (2.5Y5/2)	粘土	あり	10	水田耕作土? 下面起伏あり。	8 c
13	暗灰黄色 (2.5Y4/2)	〃	〃	6~12	水田耕作土? 下面起伏あり	9 a
14	黒色 (2.5Y2/1) 灰黄褐色 (2.5Y4/2)	泥炭質粘土 粘土	ややあり あり	20	自然堆積層、互層をなす、上部は細かなラミナ状をなす。植物遺体含む。	10 a
15	黄灰色 (2.5Y4/1)	泥炭質粘土	あり	6	水田耕作土? 下面起伏あり、下部に下層の小ブロックを少し含む。植物遺体含む。	10 b
16	黒褐色 (2.5Y3/1) 灰黄褐色 (2.5Y4/2)	〃	〃	6	自然堆積層? 互層をなす部分とブロック状に混在する部分とがある。植物遺体含む。	10 c
17	灰黄褐色 (2.5Y4/2)	〃	〃	6	自然堆積層、層中に薄い黒褐色の粘土層を含む。植物遺体含む。	10 c
18	灰黄褐色 (10YR4/2)	〃	〃	8	水田耕作土? 下面の起伏顕著、主に下部に下層のブロック混在。植物遺体含む。	10 d
19	黒褐色 (10YR3/2)	〃	〃	10	水田耕作土? 下面の起伏顕著、全体に下層ブロックを多く含む。植物遺体含む。	11
20	灰黄褐色 (2.5Y6/2) 黒褐色 (10YR3/2)	泥炭質粘土 泥炭	ややあり わずかあり	30以上	自然堆積層 互層をなす(灰黄褐色の泥炭質粘土主体)、黒褐色の薄い層もラミナ状に挟在する。植物遺体含む。	12 b

・19の各層において下部に直下層を起源とする細かなブロックが混在する状況が認められた。これらの下面の細かな起伏と、下部の直下層を起源とするブロックの存在は、水田跡の水田耕作土によく認められる特徴でもある（東日本の水田跡を考える会：1990）。また、上記の層と対応する第49次の各層でも同様の層の特徴とプラント・オパール分析結果などから、水田耕作土の可能性が考えられている。これらのことから、上記の各層も同じように水田耕作土の可能性が高いものと考えられる。

なお、層の所属年代であるが、5層については層中に10世紀前半に降下したと考えられている灰白色火山灰が含まれており、平安時代頃と考えられる。その他の層では富沢遺跡北部A地区における層の対応関係からみると（佐藤甲二他：1991）、2・3層は近世、12層以下は弥生時代と推定される。

### 参 考 文 献

佐藤甲二（1990・3）：「富沢遺跡第49次・東光寺遺跡第3次・青葉山A遺跡」『仙台市文化財調査報告書』第142集 仙台市教育委員会

東日本の水田跡を考える会（1990・10）：『第3回 東日本の水田跡を考える会—資料集—』

佐藤甲二（1991）：「富沢・泉崎浦・山口遺跡(3)—富沢遺跡第57～68次・山口遺跡第13・14次発掘調査報告書」『仙台市文化財調査報告書』第152集 仙台市教育委員会

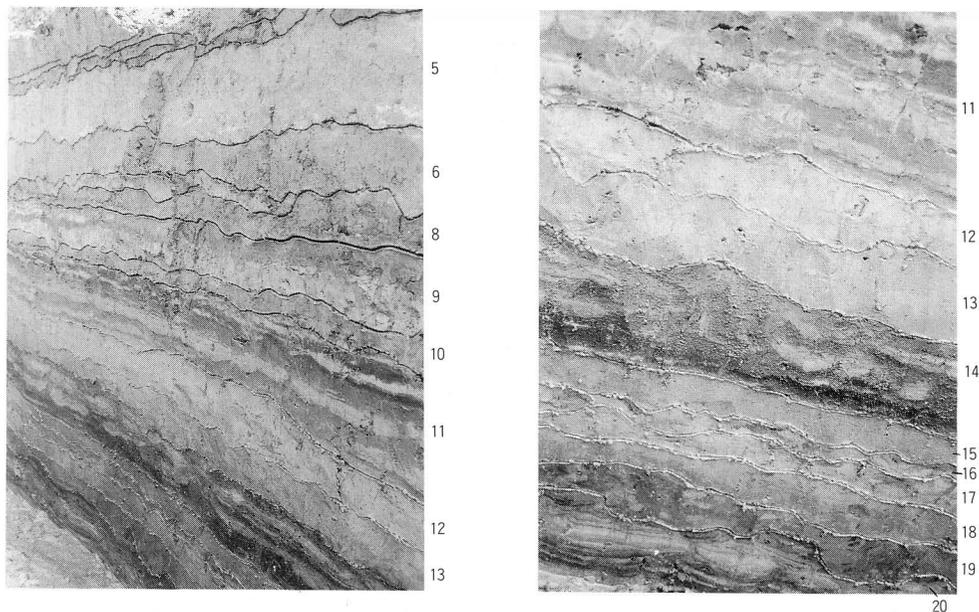


写真 東壁セクション

## 4. 分析報告

### (1) 富沢遺跡第83次調査における放射性炭素年代測定結果

古環境研究所

富沢遺跡83次調査から出土した試料について年代測定を行った。その結果を次表に示す。なお、年代値は1950年よりの年数 (B.P.) である。

年代値の算出には $^{14}\text{C}$ の半減期としてLIBBYの半減期5570年を使用している。また、付記した誤差は $\beta$ 線の計数値の標準偏差 $\sigma$ にもとづいて算出した年数で、標準偏差 (ONE SIGMA) に相当する年代である。また、試料の $\beta$ 線計数率と自然計数率の差が $2\sigma$ 以下のときは、 $3\sigma$ に相当する年代を下限の年代値 (B.P.) として表示してある。また、試料の $\beta$ 線計数率と現在の標準炭素 (MODERN STANDARD CARBON) についての計数率との差が $2\sigma$ 以下のときは、Modernと表示し、 $\delta^{14}\text{C}\%$ を付記してある。

表 富沢遺跡83次調査出土試料の放射性炭素年代測定結果

試料No.	出土地点	種類	年代順	コードNo.
	1号河川跡堆積土⑤層	木片	7020 $\pm$ 110 (B. C. 5070)	Gak-17542



#### 〔資料採集状況〕

1号河川跡は、第83次調査、基本層34層上面にて検出した。断面でのみ観察され、深さ1.5 m、幅は不明である。堆積土は6層にわけられ、堆積土②・④・⑤層からは多量の植物遺体が出土した。特に堆積土⑤層は腐植土層で、樹木片、種子、昆虫が出土している。放射性炭素年代測定資料は、この堆積土⑤層出土の木片である。

上層の基本層29層には、B. P. 5, 500年と推定される火山灰が含まれることより、1号河川の年代はこれより古いものと考えられた。なお、南に隣接する第52次調査区で基本層とした30・31層は、層相及び標高の類似性よりこの1号河川跡の堆積土の可能性はある。

## (2) 澱不動尊文永十年板碑について

広瀬町の澱不動尊の境内に鎌倉時代中期、文永十（1273）年の板碑がある。当初は付近の藪の中にあったのを境内に移し立てたといわれているので、原位置は動いているものと思われる。この板碑を最初に紹介したのは松本源吉で、昭和16年に発表した「陸前宮城郡の古碑」（『佛教考古学論叢』東京考古学会）において、写真入りで簡単に紹介している。

石材は石巻市稲井産の粘板岩を使用している。石質はやや軟らかく全体的に風化しており、頂部は剝落している部分もみられる。大きさは台石から上に出ている部分の高さは175cmである。頂部の幅は29cmで厚さは21cm。中央部の幅は31cmで厚さ20cm。基部の幅は30cmで厚さは16cmある。高さがあるわりには幅が狭いので全体は細長い長方形を呈している。頂部は左斜めになっているが、故意に整形したというよりも石材を切り出した時のままで、後から特別に整形していないようである。碑面は節理面で平滑に磨いて調整されている。左右の側線は直線的で、その側面は大きく割り取られた剝離面で、裏面は節理面のままである。

種子は碑面の上部にあり、中央に大きく「キリク」（阿弥陀如来）、その向かって左下に小さく「サク」（勢至菩薩）、右下に「サ」（観音菩薩）があり、それらは阿弥陀三尊をあらわしている。種子の彫り方は薬研彫りで、工具痕はそれぞれの画に並行な鑿痕が観察でき、底線もはっきりみえる。種子は月輪に入っており、それぞれ薬研彫りの蓮台に乗っている。阿弥陀三尊種子の上部には華形の天盖があり、4連の嬰珞が垂れ下がって荘厳されている。

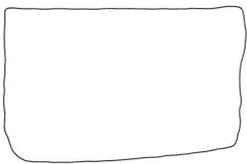
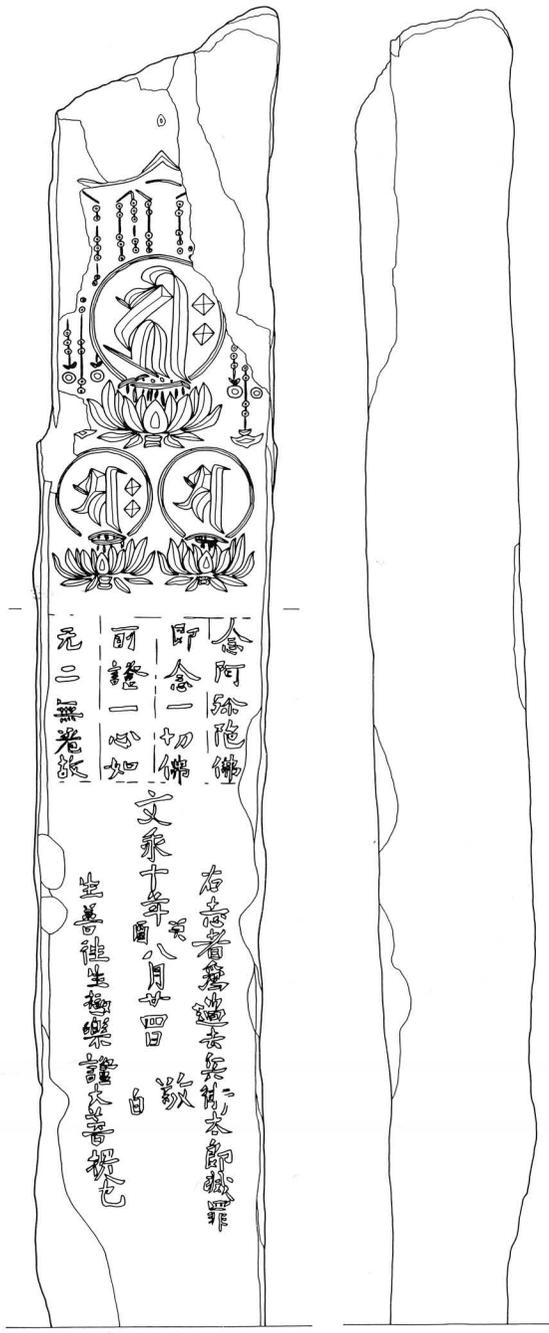
偈頌は碑面の中央に4行あり、1行は5文字である。右から「念阿弥陀佛・即念一切佛・前證一心如・无二無差故」とある。読み下しは「阿弥陀佛を念ずれば、即ち一切の佛を念ず。證す一心は、二つなく差なきが如き故なり」となる。この偈頌の出典は加藤政久氏によれば、前の二句は『往生要集』からであるが、後の二句の出典はまだ解明されていないという（『石仏偈頌辞典』国書刊行会 平成2年）。偈頌の周囲には割り付け用の細い線がみられる。

銘文は碑面の下部に3行みられる。中央に「文永十年癸酉八月廿四日」と紀年号があり、その下に「敬白」とある。干支と敬白は割り書きになっている。右側は「右志者為過去兵衛太郎滅罪」、左側は「生善往生極楽證大菩提也」と願文がみられ、兵衛太郎という人物の極楽往生を願って造立された追善供養の板碑であることがわかる。

板碑の基部は新しい台石の中に嵌め込まれている。台石は安山岩の丸い礫で、向かって左側に「昭和十一年十一月十八日・澱町一心會」と彫られている。

仙台市内で文永年間に造立された板碑は6基あり、澱不動尊板碑は仙台最古の柳生字北にある文永十年二月の板碑に次いで古く、宮城県内でも初発期の板碑に入るものである。また、天盖・月輪・蓮台などで種子を荘厳し、偈頌を彫っている丁寧な造りの文永年間の粘板岩製板碑は仙台市内では他に類例がなく非常に貴重なものである。平成6年3月29日仙台市指定有形文化財に指定。

（宮城いしぶみ会会員 石黒伸一郎）



## 5. 遺跡の登録・範囲変更

平成6年度は2遺跡の新規登録と2遺跡の範囲変更を行った。

### (1)一塚古墳（仙台市太白区文化財分布地図番号62）01092（C-006）

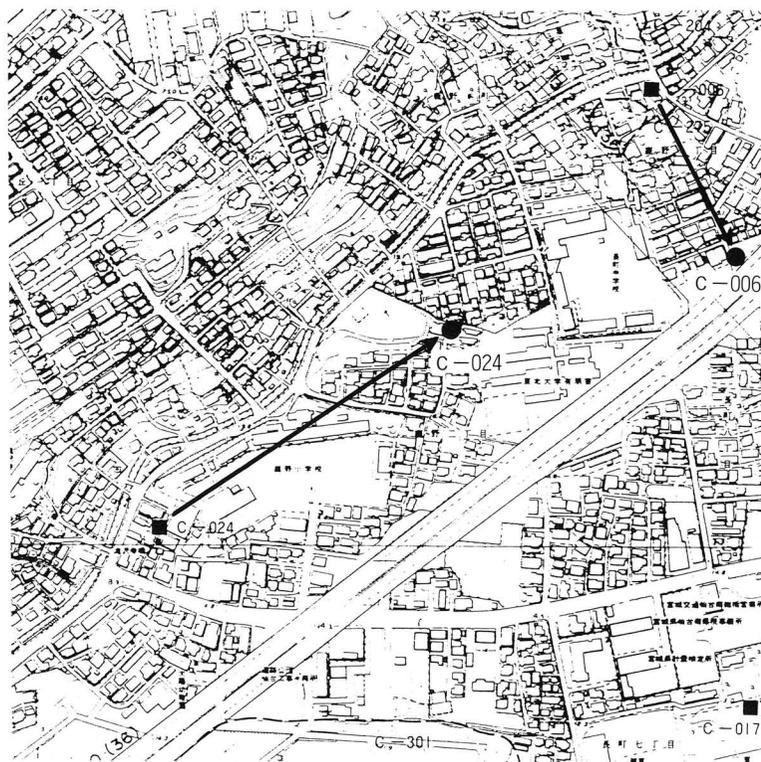
所在地 仙台市太白区鹿野一丁目

概要 旧地名、地籍図等との照合、再調査により原位置が確定されたことから。墳丘はすでに削平されている。旧状は円墳で、主体部は竪穴式石室で家型石棺。

### (2)二塚古墳（仙台市太白区文化財分布地図番号62）01093（C-024）

所在地 仙台市太白区鹿野二丁目

概要 旧地名、地籍図等との照合、再調査により原位置が確定されたことから。墳丘はすでに削平されている。旧状は主軸長30m程の前方後円墳と伝えられ、主体部は舟形石棺。



### (3)善応寺東横穴墓群（仙台市文化財分布地図番号21）01451（C-057）

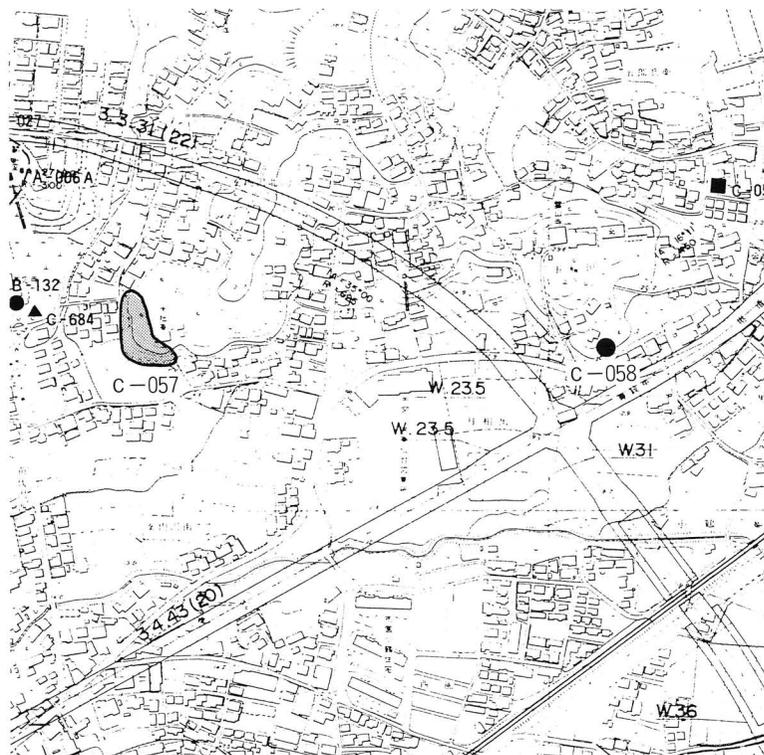
所在地 仙台市宮城野区燕沢三丁目

概要 宮城県文化財保護地区指導員による当該地区の遺跡分布調査により、新発見された。

(4)小鶴一丁目塚（仙台市文化財分布地図番号21）01452（C-058）

所在地 仙台市宮城野区小鶴一丁目

概要 宮城県文化財保護地区指導員による当該地区の遺跡分布調査により、新発見された。



## 6. 原始古代村・旧石器の森整備事業

平成6年度は前年度完了した実施設計に基づいて、保存館建築工事、展示工事の発注が行われ、10月に着工、完成は平成8年3月である。概要は次のとおりである。

名称	(仮称) 仙台市富沢遺跡保存館
建築場所	太白区長町南4丁目3番
敷地面積	14,879㎡
建築面積	1,196㎡
建物延床面積	2,743㎡
構造階数	鉄骨鉄筋コンクリート造、連壁地中壁杭、PHC杭 地上1階 地下2階
建物建築費	1,398,225千円
展示工事費	79,722千円

## Ⅳ 指定文化財一覽

### 1 《国指定文化財》

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者（管理者）	指定年月日
有形文化財／建造物					
1 国宝	大崎八幡神社社殿 附 棟札1枚	1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S27.11.22 (M36. 4.15)
2	大崎八幡神社長床	1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S41. 6.11
3	陸奥国分寺薬師堂 附 厨子1基 棟札1枚	1棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥国分寺	M36. 4.15
4	東照宮 本殿 唐門 透塀 隨身門 鳥居 附 厨子1基 石灯笼34基 棟札1枚	5棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S28. 3.31 (S55. 1.26)
有形文化財／彫刻					
5	木造釈迦如来立像	1軀	青葉区八幡四丁目8-32	龍宝寺	M36. 4. 1
有形文化財／工芸品					
6	太刀	1口	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡神社	T 3. 4. 1
7	小紋染胴服	1領	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S53. 6.15
8	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付（伊達政宗所用） 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S54. 6. 6
9	銀伊子札白糸威胴丸具足 兜・小具足付	1領	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S54. 6. 6
10	帯（三沢初子所用） 附 総鹿子裂2枚 入日記（正徳2年4月）1通	12条	青葉区川内三の丸跡	仙台市	H 3. 6.21
有形文化財／書跡					
11	国宝 類聚国史卷第二十五	1巻	青葉区川内1-1	国（東北大学）	S27.11.22
12	国宝 史記（孝文本紀第十）	1巻	青葉区川内1-1	同（東北大学）	S27.11.22
有形文化財／考古資料					
13	埴輪甲 埴輪家残闕 埴輪円筒	2箇 1箇 1箇	青葉区片平二丁目1-1	国（東北大学）	S34. 6.27
14	陸前国沼津貝塚出土品	一括	青葉区片平二丁目1-1	国（東北大学）	S38. 7. 1
有形文化財／歴史資料					
15	慶長遣欧使節関係資料	一括	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S53. 3.24 (S41. 6.11)
16	坤輿万国全図（版本）附 坤輿万国全図（着色）	6幅	宮城野区榴ヶ岡5	宮城県（図書館）	H 2. 6.29
無形民俗文化財					
17	秋保の田植踊	太白区秋保町湯元 太白区秋保町長袋 太白区秋保町馬場	湯元の田植踊保存会 長袋の田植踊保存会 馬場の田植踊保存会		S51. 5. 4
記念物／史跡					
18	陸奥国分寺跡	若林区木ノ下二丁目，三丁目	仙台市		T11.10.12
19	陸奥国分尼寺跡	若林区白萩町	仙台市		S23.12.18
20	林子平墓	青葉区子平町19-5	仙台市		S17. 7.21
21	遠見塚古墳	若林区遠見塚一丁目ほか	仙台市		S43.11. 8
22	岩切城跡	宮城野区岩切字入山ほか	仙台市 利府町		S57. 8.23
記念物／名勝					
23	秋保大滝	太白区秋保町馬場字大滝地内	仙台市		S17. 3. 7

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者（管理者）	指定年月日
24	警司		太白区秋保町大字馬場字馬場岳山内地	仙台市 農林省（仙台営林署）	S20. 2.22
記念物／天然記念物					
25	苦竹のイチョウ		宮城野区銀杏町一丁目	永野ちとせ（仙台市）	T15.10.20
26	朝鮮ウメ		若林区古城二丁目	法務省（宮城刑務所）	S17. 9.19
27	青葉山		青葉区荒巻字青葉12番地の内	文部省（東北大学）	S47. 7.11
28	姉滝		太白区秋保町馬場字馬場岳山	農林省（仙台営林署）	S 9. 8. 9
29	東昌寺のマルミガヤ		青葉区青葉町8-1	東昌寺	H 7.3.20

## 2 《県指定文化財》

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者（管理者）	指定年月日
有形文化財／建造物					
1	白山神社本殿	1棟	若林区木ノ下三丁目9-1	白山神社	S30. 3.25
2	諏訪神社本殿 附 棟札12枚	1棟	青葉区上愛子字宮下40	諏訪神社	S38. 7. 2
3	東照宮手水舎 附 花崗岩造水盤	1棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S39. 9. 4
4	賀茂神社本殿 附 棟札2枚	2棟	泉区古内字糺1	賀茂神社	S39. 9. 4
5	落合観音堂、附 棟札1枚	1棟	太白区四郎丸字落合60	光西寺	S44. 8.29
6	大崎八幡神社石鳥居	1基	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S45.10.30
7	亀岡八幡神社石鳥居 附 鳥居額	1基	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡神社	S45.10.30
8	宮城県知事公館正門（旧仙台北城門）	1棟	青葉区広瀬町5-43	宮城県	S46.11. 9
9	陸奥国分寺薬師堂仁王門	1棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥国分寺	S50. 4.30
10	旧仙台北城板倉	1棟	宮城野区岩切三所北16	日野正一	S53. 5. 2
有形文化財／絵画					
11	松島五大堂図	1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	S48. 1.16
12	松島図	1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	S48. 1.16
13	宮城県庁門前図	1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	S48. 1.16
14	清海曼荼羅図 附 浄土清海曼荼羅略記袋中著	1幅	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S49. 4.30
15	仙台北城本丸大広間障壁画扇面図	2双	青葉区川内三の丸跡	仙台市	H 5.12.24
有形文化財／彫刻					
16	木造十二神将立像	12軀	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S34. 8.31
17	木造阿弥陀如来立像	1軀	泉区福岡字阿弥陀前23	早坂忠治	S40. 5.18
18	木造聖観音像	1軀	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S49. 4.30
19	木造不動明王立像	1軀	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S50. 4.30
20	木造毘沙門天立像	1軀	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S50. 4.30
21	木造十一面観音立像	1軀	泉区高森五丁目17-3	菊谷美津子	S51. 3.29
22	木造阿弥陀如来立像	1軀	若林区新寺三丁目5-3	阿弥陀寺	S55. 5.30
有形文化財／工芸品					
23	薙刀	1口	青葉区中央二丁目3-24	本郷栄一郎	S34. 8.31
24	太刀	1口	太白区桜木町32-17	中川 高	S34. 8.31
25	刀	1口	太白区根岸町3-10	大竹左右吉	S34. 8.31
26	刀	1口	青葉区大町二丁目9-13-704	佐藤太志	S34. 8.31
27	刀	1口	太白区桜木町32-17	中川 高	S34. 8.31
28	短刀	1口	太白区根岸町3-10	大竹左右吉	S34. 8.31
29	銅鐘	1口	泉区山の寺二丁目3-1	洞雲寺	S37. 6.28
30	銅鐘	1口	青葉区霊屋下23-5	瑞鳳寺	S37. 6.28

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者（管理者）	指定年月日
無形文化財					
31	精好仙台平技術		太白区根岸町15-5	甲田綏郎	S51. 3. 29
無形民俗文化財					
32	愛子の田植踊		青葉区下愛子	愛子の田植踊保存会	S35. 4. 23
33	大倉の役人田植踊		青葉区大倉	大倉の役人田植踊保存会	S35. 4. 23
34	新川の田植踊		青葉区新川	新川の田植踊保存会	S35. 4. 23
35	芋沢の田植踊		青葉区芋沢	芋沢の田植踊保存会	S35. 4. 23
36	下倉の田植踊		青葉区大倉	下倉の田植踊保存会	S46. 8. 3
37	大崎八幡神社の能神楽		青葉区八幡	大崎八幡神社の能神楽保存会	S47. 10. 11
38	野口鹿踊		太白区秋保町馬場	野口鹿踊保存会	S47. 10. 11
39	川前鹿踊・川前剣舞		青葉区芋沢	川前鹿踊・川前剣舞保存会	S48. 11. 6
40	福岡の鹿踊・剣舞		泉区福岡	福岡鹿踊・剣舞保存会	H 3. 8. 30
41	滝原の鬨拝		太白区秋保町馬場	滝原の鬨拝保存会	H 3. 8. 30

### 3 《市指定文化財》

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者（管理者）	指定年月日
有形文化財／建造物					
1	善応寺開山堂	1 棟	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	S43. 2. 15
2	旧第四連隊兵舎	1 棟	宮城野区五輪一丁目3-7	仙台市	S53. 6. 16
3	旧伊達邸	1 棟	太白区茂庭字人來田西143-3	仙台市	S58. 12. 1
4	大年寺惣門	1 棟	太白区茂ヶ崎四丁目	仙台市	S60. 9. 4
5	成覚寺山門（旧浄眼院殿霊屋門）	1 棟	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S61. 12. 20
6	莊厳寺山門	1 棟	青葉区新坂町12-1	莊厳寺	S61. 12. 20
7	輪王寺山門	1 棟	青葉区北山一丁目6番街区	輪王寺	S61. 12. 20
8	大満寺虚空藏堂 附 厨子1基	1 棟	太白区向山四丁目17-1	大満寺	S62. 3. 30
9	大願寺山門（旧万寿院殿霊屋門）	1 棟	青葉区新坂町7-1	大願寺	S62. 3. 30
10	泰心院山門（旧仙台藩藩校養賢堂正門）	1 棟	若林区南鍛冶町100	泰心院	S62. 3. 30
11	宇那禰神社本殿 附 棟札5枚	1 棟	青葉区芋沢字明神12	宇那禰神社	S47. 12. 27
12	臨濟院地内弁財天堂並びに堂地	1 棟	青葉区臨濟院	千田定雄ほか	S62. 9. 11
13	小滝沢橋	1 基	太白区秋保町馬場字駅	仙台市	S58. 8. 1
14	旧熊谷家住宅	1 棟	泉区福岡字岳山9-5	仙台市	S61. 4. 1
15	石垣家住宅 附 土蔵（米蔵）1棟	1 棟	宮城野区福田町一丁目15-1	仙台市	S 6. 3. 29
有形文化財／絵画					
16	紙本着色伊達政宗画像 狩野探幽筆	1 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S44. 7. 31
17	菊絵和歌屏風	2 隻	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S51. 7. 1
18	躑躅ヶ岡花見図屏風	6 曲 半双	青葉区川内三の丸跡	佐々木美知子 大平 千枝子	S51. 7. 1
19	菅井梅園水亭牛翠図	1 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S51. 7. 1

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者 (管理者)	指定年月日
20	仙台城日本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本着色葵図 (2 曲屏風) 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図 東東洋筆	1 双 6 面 4 面	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
21	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
22	綱本着色靈昭女, 牡丹, 芙蓉図 伊達綱宗筆	3 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
23	紙本着色河図之図 東東洋筆	1 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
24	銅板油彩悲しみのマリア像	1 面	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
25	瀟湘八景図 雪村周継筆	6 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	H 7. 3. 23
26	大年寺山真景図 伝高久靄圧筆	1 面	青葉区川内三の丸跡	佐々木美知子 大平 千枝子	H 7. 3. 23
有形文化財 / 彫刻					
27	木造釈迦如来坐像	1 軀	青葉区北山一丁目 14-1	輪王寺	S 51. 7. 1
28	木造釈迦如来立像	1 軀	青葉区茂庭字綱木裏山 4	大梅寺	H 2. 3. 19
29	木造毘沙門天立像	1 軀	青葉区茂庭字綱木裏山 4	大梅寺	H 2. 3. 19
30	木造安国上人坐像	1 軀	若林区土樋一丁目 11-16	真福寺	H 2. 3. 19
31	宝冠釈迦如来坐像	1 軀	青葉区国見一丁目 15-1	壽徳寺	H 2. 3. 19
有形文化財 / 工芸品					
32	銅造薬師十二神佛像掛額	1 面	若林区木ノ下三丁目 8-1	陸奥国分寺	S 51. 7. 1
33	梵鐘	1 口	太白区向山四丁目 4-1	大満寺	S 52. 3. 1
34	仙台藩歴代藩主所用具足	11 領	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
35	服飾類 伊達政宗所用 白綾地竜胆立浦浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1 具 1 領 1 領 1 領 1 腰 1 腰 1 腰 1 条	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
36	孔雀羽根織込陣羽織 伊達重村所用	1 領	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
37	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2 筒 伊達忠宗作 2 筒 伊達綱宗 6 筒 伊達綱村作 7 筒 伊達吉村作 36 筒 仙台藩主作 7 筒 (以上茶杓箆筒入) 伊達忠宗作 1 筒	61 筒	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
38	仙台城日本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草紋釘隠	2 箇	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
39	花鳥山水孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月 吉日の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1 台	1 面	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
有形文化財 / 書跡					
40	雲居禅師墨跡三幅対	3 幅	青葉区茂庭字綱木裏山 4	大梅寺	S 51. 7. 1
有形文化財 / 古文書					

番号	名 称	頁数	所 在 地	所有者 (管理者)	指定年月日
41	印章 仙台藩歴代藩主所用	227 題	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
42	伊達治家記録 (仙台市博物館本)	696 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
43	伊達世臣家譜及統編 (仙台市博物館本)	268 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
44	伊達出自正統世次考 (仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首巻 1冊 伊達出自世次考 9巻9冊 伊達正統世次考 10巻14冊 伊達出自正統世次考系図 1冊 附 御代々考考證 遊佐好生筆10冊	25冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
45	奥州仙台領絵図 「此御絵図者、正保年中被指上候御国絵図、元祿十年從公儀御拝借被成、御写被成候御絵図を清書被仰付候御絵図也」の裏書きがある	1 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
46	林子平自筆写本絵図類 附 六無斎遺詠 1冊	8 枚	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
47	支倉家文書	一括	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
有形文化財/考古資料					
48	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身1口・糸巻太刀拵1腰・黒漆葛蒔絵文箱1合・青龍付文鎮(文箱内容品)1点・墨(文箱内容品)1挺・黒漆白梅蒔絵箱1合・梨地菊蒔絵箱1合・黒漆鉄線蒔絵香合1合・梨地梅蒔絵硯箱1合・筆入(硯箱内容品)1点・墨(硯箱内容品)1挺・硯(硯箱内容品)1面・水滴(硯箱内容品)1点・梨地煙管箱1合・煙管羅字(煙管箱内容品)2点・梨地菊蒔絵印籠1具・皮袋1点・慶長一分金(皮袋内容品)3枚・携帯用磁石(皮袋内容品)1点・金製ブローチ(皮袋内容品)1点・練玉(皮袋緒締)1点・銀製裝飾品1点・円鏡1点・毛拔2点・雲母製菜板5枚・菱紋金製菜板1枚・金具一括・残欠類一括	一括	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 60. 9. 4
49	皮袋形土器 上ノ原遺跡出土	1 箇	仙台市青葉区国分町三丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
50	伊古田遺跡出土土偶	4 箇	仙台市青葉区国分町三丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
51	戸ノ内遺跡方形周溝墓出土土器	2 箇	仙台市青葉区国分町三丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
有形文化財/歴史資料					
52	渾天儀	1 個	青葉区桜ヶ丘公園1-1	仙台市	S 45. 2. 23
53	象限儀	1 個	青葉区桜ヶ丘公園1-1	仙台市	S 45. 2. 23
54	天球儀	2 個	青葉区桜ヶ丘公園1-1	仙台市	S 45. 2. 23
55	塵芥集 (村田本)	1 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 51. 7. 1
56	晴宗公采地下賜録	2 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S 51. 7. 1
57	芭蕉句碑	1 基	岩林区木ノ下二丁目70	陸奥国分寺	S 51. 7. 1

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者（管理者）	指定年月日
58	大淀三千風供養碑	1基	若林区木ノ下二丁目70	陸奥国分寺	S51. 7. 1
59	芭蕉句碑	1基	宮城野区榴ヶ岡23	榴岡天満宮	S52. 3. 1
60	原町苦竹の道知るべ石	1基	宮城野区原町三丁目	仙台市	S52. 3. 1
61	澁不動尊文永十年板碑	1基	青葉区広瀬町8-1	澁町むつみ会	H 6. 3.29
有形民俗文化財					
62	上前十三塚	13基	太白区坪沼字上前43番地のうち 1,425㎡の土地を含む	小池政次郎	H 2. 3.19
63	源頼政鶴退治図絵馬	1面	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H 4. 7. 7
64	牛若丸剣道修行図絵馬	1面	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H 4. 7. 7
65	中村景貞乗馬図絵馬	1面	太白区四郎九字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
66	曳馬図絵馬	1面	太白区四郎九字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
67	宇治川先陣図絵馬	1面	太白区四郎九字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
68	金銅板押出三重塔絵馬	1面	太白区四郎九字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
無形民俗文化財					
69	馬場愛宕神社神楽		太白区秋保町馬場	馬場愛宕神社神楽保存会	S61. 8. 1
70	上谷刈の鹿踊・剣舞		泉区古内	上谷刈の鹿踊・剣舞保存会	S39.10.21
71	大沢の田植踊		泉区泉ヶ丘	大沢の田植踊保存会	S62. 8. 1
72	榊流青麻神楽		宮城野区岩切字青麻沢	榊流青麻神楽保存会	H 3.10. 1
73	生出森八幡神楽		太白区茂庭字中ノ瀬西	生出森八幡神楽保存会	H 3.10. 1
史跡					
74	善応寺横穴古墳群		宮城野区燕沢二丁目	善応寺	S43. 2.15
75	三沢初子の墓など		宮城野区榴ヶ岡五丁目4	仙台市	S47. 2. 1
76	刀工本郷国包各代の墓所		若林区新寺二丁目7-33	善導寺	S55.10.20
77	経ヶ峯伊達家墓所		青葉区霊屋下	仙台市ほか	S59. 7.21
78	西館跡		青葉区下愛子字館	沢口富雄	S50.12.11
79	郷六城跡		青葉区郷六字庄子	安達久雄ほか	S50.12.11
80	栽松院墓所		泉区根白石字館下	満興寺	S43. 3. 1
81	松森焰硝蔵跡		泉区南光台東二丁目35-8	仙台市	S62. 5. 1
天然記念物					
82	霊屋下セコイヤ類化石林		青葉区米袋一丁目、三丁目、霊屋下	宮城県	S48. 8. 6
83	大梅寺のヒヨクヒバ		青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	S52. 3. 1
84	簀（かんざし）桜		青葉区下愛子字町25-1 青葉区上愛子字上原80	庄子善雄 庄子善吉	S61. 5.30
85	泉ヶ岳のミズバショウほか湿性植物群生地		泉区福岡字岳山	仙台市	S40. 5.12
86	鶯倉神社の神杉（姥杉）		泉区福岡字小山17	鶯倉神社	S60. 4.25
87	賀茂神社のイロハモミジ		泉区古内字糺1	賀茂神社	S60. 4.25
88	賀茂神社のタラヨウ		泉区古内字糺1	賀茂神社	S60. 4.25
89	賀茂神社のアラカン		泉区古内字糺1	賀茂神社	S60. 4.25

## 文化財課職員録

課長 白鳥良一	主任 吉岡恭平	調査第二係
	” 工藤哲司	係長 結城慎一
管理係	主事 主浜光朗	主任 篠原信彦
係長 千葉晴洋	” 長島榮一	” 佐藤洋
主任 村上道子	” 工藤信一郎	” 佐藤甲二
主事 福井健司	” 佐藤淳	主事 渡部弘美
” 相沢希世美	” 渡部紀	” 斎野裕彦
” 佐藤美弥子	教諭 佐藤好一	” 荒井格
” 齋藤英治	” 小川淳一	” 中富洋
	” 五十嵐康洋	” 平間亮輔
調査第一係	” 赤澤靖章	教諭 太田昭夫
係長 田中則和	” 高橋綾子	” 神成浩志
主査 木村浩二	” 川名秀一	” 竹田幸司
主任 金森安孝	” 熊谷裕行	” 三塚靖

## 仙台市文化財調査報告書刊行目録

- 第1集 天然記念物霊屋下セコイヤ化石林調査報告書（昭和39年4月）
- 第2集 仙台城（昭和42年3月）
- 第3集 仙台市燕沢善応寺横穴古墳群調査報告書（昭和43年3月）
- 第4集 史跡陸奥国分尼寺跡環境整備並びに調査報告書（昭和44年3月）
- 第5集 仙台市南小泉法領塚古墳調査報告書（昭和47年8月）
- 第6集 仙台市荒巻五本松窯跡発掘調査報告書（昭和48年10月）
- 第7集 仙台市富沢裏町古墳発掘調査報告書（昭和49年3月）
- 第8集 仙台市向山愛宕山横穴群発掘調査報告書（昭和49年5月）
- 第9集 仙台市根岸町宗禅寺横穴群発掘調査報告書（昭和51年3月）
- 第10集 仙台市中田町安久東遺跡発掘調査概報（昭和51年3月）
- 第11集 史跡遠見塚古墳環境整備予備調査概報（昭和51年3月）
- 第12集 史跡遠見塚古墳環境整備第二次予備調査概報（昭和52年3月）
- 第13集 南小泉遺跡一範囲確認調査報告書一（昭和53年3月）
- 第14集 栗遺跡発掘調査報告書（昭和54年3月）
- 第15集 史跡遠見塚古墳昭和53年度環境整備予備調査概報（昭和54年3月）
- 第16集 六反田遺跡発掘調査（第2・3次）のあらまし（昭和54年3月）
- 第17集 北屋敷遺跡（昭和54年3月）
- 第18集 榊江遺跡発掘調査報告書（昭和55年3月）
- 第19集 仙台市地下鉄関係分布調査報告書（昭和55年3月）

- 第 20集 史跡遠見塚古墳昭和54年度環境整備予備調査概報（昭和55年 3月）
- 第 21集 仙台市開発関係遺跡調査報告Ⅰ（昭和55年 3月）
- 第 22集 経ヶ峰（昭和55年 3月）
- 第 23集 年報 1（昭和55年 3月）
- 第 24集 今泉城跡発掘調査報告書（昭和55年 8月）
- 第 25集 三神峯遺跡発掘調査報告書（昭和55年12月）
- 第 26集 史跡遠見塚古墳昭和55年度環境整備予備調査概報（昭和56年 3月）
- 第 27集 史跡陸奥国分寺跡史跡昭和55年度発掘調査概報（昭和56年 3月）
- 第 28集 年報 2（昭和56年 3月）
- 第 29集 郡山遺跡Ⅰ－昭和55年度発掘調査概報（昭和56年 3月）
- 第 30集 山田上ノ台遺跡発掘調査概報（昭和56年 3月）
- 第 31集 仙台市開発関係遺跡調査報告Ⅱ（昭和56年 3月）
- 第 32集 鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和56年 3月）
- 第 33集 山口遺跡発掘調査報告書（昭和56年 3月）
- 第 34集 六反田遺跡発掘調査報告書（昭和56年12月）
- 第 35集 南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第 1次調査報告（昭和57年 3月）
- 第 36集 北前遺跡発掘調査報告書（昭和57年 3月）
- 第 37集 仙台平野の遺跡群Ⅰ－昭和56年度発掘調査報告書－（昭和57年 3月）
- 第 38集 郡山遺跡Ⅱ－昭和56年度発掘調査概報－（昭和57年 3月）
- 第 39集 燕沢遺跡発掘調査報告書（昭和57年 3月）
- 第 40集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅰ（昭和57年 3月）
- 第 41集 年報 3（昭和57年 3月）
- 第 42集 郡山遺跡－宅地造成に伴う緊急発掘調査－（昭和57年 3月）
- 第 43集 栗遺跡（昭和57年 8月）
- 第 44集 鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和57年12月）
- 第 45集 茂庭－茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書－（昭和58年 3月）
- 第 46集 郡山遺跡Ⅲ－昭和57年度発掘調査概報－（昭和58年 3月）
- 第 47集 仙台平野の遺跡群Ⅱ－昭和57年度発掘調査報告書－（昭和58年 3月）
- 第 48集 史跡遠見塚古墳昭和57年度環境整備予備調査概報（昭和58年 3月）
- 第 49集 仙台市文化財分布調査報告Ⅰ（昭和58年 3月）
- 第 50集 岩切畑中遺跡発掘調査報告書（昭和58年 3月）
- 第 51集 仙台市文化財分布地図（昭和58年 3月）
- 第 52集 南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第 2次調査報告（昭和58年 3月）
- 第 53集 中田畑中遺跡発掘調査報告書（昭和58年 3月）
- 第 54集 神明社窯跡発掘調査報告書（昭和58年 3月）
- 第 55集 南小泉遺跡－青葉女子学園移転新営工事地内調査報告（昭和58年 3月）
- 第 56集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅱ（昭和58年 3月）
- 第 57集 年報 4（昭和58年 3月）
- 第 58集 今泉城跡（昭和58年 3月）
- 第 59集 下ノ内浦遺跡（昭和58年 3月）
- 第 60集 南小泉遺跡－倉庫建築に伴う緊急発掘調査報告書－（昭和58年 3月）
- 第 61集 山口遺跡Ⅱ－仙台市体育館建設予定地－（昭和59年 2月）
- 第 62集 燕沢遺跡（昭和59年 3月）
- 第 63集 史跡陸奥国分寺跡昭和58年度発掘調査概報（昭和59年 3月）
- 第 64集 郡山遺跡Ⅳ－昭和58年度発掘調査概報－（昭和59年 3月）
- 第 65集 仙台平野の遺跡群Ⅲ－昭和58年度発掘調査報告書－（昭和59年 3月）
- 第 66集 年報 5（昭和59年 3月）
- 第 67集 富田水田遺跡－第 1冊－泉崎前地区（昭和59年 3月）
- 第 68集 南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第 3次調査報告（昭和59年 3月）
- 第 69集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅲ（昭和59年 3月）
- 第 70集 戸ノ内遺跡発掘調査報告書（昭和59年 3月）
- 第 71集 後河原遺跡（昭和59年 3月）
- 第 72集 六反田遺跡Ⅱ（昭和59年 3月）
- 第 73集 仙台市文化財分布調査報告書Ⅱ（昭和59年 3月）
- 第 74集 郡山遺跡Ⅴ－昭和59年度発掘調査概報－（昭和60年 3月）
- 第 75集 仙台平野の遺跡群Ⅳ－昭和59年度発掘調査報告書－（昭和60年 3月）
- 第 76集 仙台城三ノ丸跡発掘調査報告書（昭和60年 3月）
- 第 77集 山田上ノ台遺跡－昭和59年度発掘調査報告書－（昭和60年 3月）

- 第 78集 中田畑中遺跡－第 2 次発掘調査報告書－（昭和60年 3 月）  
 第 79集 欠ノ上 I 遺跡発掘調査報告書（昭和60年 3 月）  
 第 80集 南小泉遺跡－第12次発掘調査報告書－（昭和60年 3 月）  
 第 81集 南小泉遺跡－第13次発掘調査報告書－（昭和60年 3 月）  
 第 82集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅳ（昭和60年 3 月）  
 第 83集 年報 6（昭和60年 3 月）  
 第 84集 仙台市文化財分布調査報告書Ⅲ（昭和60年 3 月）  
 第 85集 宮城県仙台市愛宕山装飾横穴古墳発掘調査報告書（昭和60年 8 月）  
 第 86集 郡山遺跡Ⅵ－昭和60年度発掘調査概報－（昭和61年 3 月）  
 第 87集 仙台平野の遺跡群Ⅴ－昭和60年度発掘調査報告書－（昭和61年 3 月）  
 第 88集 上野遺跡発掘調査報告書（昭和61年 3 月）  
 第 89集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅴ（昭和61年 3 月）  
 第 90集 若林城跡－平安時代の集落跡－（昭和61年 3 月）  
 第 91集 東北電力鉄塔関係遺跡調査報告書（昭和61年 3 月）  
 第 92集 五城中北窯跡発掘調査報告書（昭和61年 3 月）  
 第 93集 仙台市文化財分布調査報告Ⅳ（昭和61年 3 月）  
 第 94集 年報 7（昭和61年 3 月）  
 第 95集 柳生（昭和62年 3 月）  
 第 96集 郡山遺跡Ⅶ－昭和61年度発掘調査概報－（昭和62年 3 月）  
 第 97集 仙台平野の遺跡群Ⅵ－昭和61年度発掘調査報告書－（昭和62年 3 月）  
 第 98集 富沢遺跡（昭和62年 3 月）  
 第 99集 五本松窯跡発掘調査報告書（昭和62年 3 月）  
 第100集 山田上ノ台発掘調査報告書（昭和62年 3 月）  
 第101集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅵ（昭和62年 3 月）  
 第102集 六反田遺跡発掘調査報告書（昭和62年 3 月）  
 第103集 元袋Ⅲ遺跡発掘調査報告書（昭和62年 3 月）  
 第104集 富沢遺跡－東北地方建設局長町宿舍建設工事に伴う発掘調査報告書－（昭和62年 3 月）  
 第105集 北前遺跡発掘調査報告書（昭和62年 3 月）  
 第106集 仙台市文化財分布調査報告書Ⅴ（昭和62年 3 月）  
 第107集 年報 8（昭和62年 3 月）  
 第108集 春日社古墳・鳥居塚古墳発掘調査報告書（昭和62年 8 月）  
 第109集 南小泉遺跡－第14次発掘調査報告書－（昭和62年11月）  
 第110集 郡山遺跡Ⅷ－昭和62年度発掘調査概報－（昭和63年 3 月）  
 第111集 仙台平野の遺跡群Ⅶ－昭和62年度発掘調査報告書－（昭和63年 3 月）  
 第112集 東光寺遺跡発掘調査報告書（昭和63年 3 月）  
 第113集 富沢遺跡第24次調査報告書（昭和63年 3 月）  
 第114集 富沢遺跡第28次調査報告書（昭和63年 3 月）  
 第115集 下ノ内浦遺跡発掘調査報告書（昭和63年 3 月）  
 第116集 燕沢遺跡（昭和63年 3 月）  
 第117集 富沢遺跡第33次発掘調査報告書（昭和63年 3 月）  
 第118集 富沢遺跡第34次発掘調査報告書（昭和63年 3 月）  
 第119集 泉崎浦遺跡発掘調査報告書（昭和63年 3 月）  
 第120集 錦ヶ丘ニュータウン関連遺跡調査報告書（昭和63年 3 月）  
 第121集 仙台市文化財分布調査報告書Ⅵ（昭和63年 3 月）  
 第122集 年報 9（昭和63年 3 月）  
 第123集 鴻ノ巣遺跡（平成元年 3 月）  
 第124集 郡山遺跡Ⅸ－昭和63年度発掘調査概報－（平成元年 3 月）  
 第125集 仙台平野の遺跡群Ⅷ－昭和63年度発掘調査報告書－（平成元年 3 月）  
 第126集 富沢遺跡・泉崎浦遺跡－仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ－（平成元年 3 月）  
 第127集 上野遺跡－電力鉄塔関係発掘調査報告書（平成元年 3 月）  
 第128集 富沢・泉崎浦・山口遺跡－36～48次・4次・5～8次－（平成元年 3 月）  
 第129集 北前遺跡第 3 次発掘調査報告書（平成元年 3 月）  
 第130集 茂ヶ崎横穴墓群（平成元年 3 月）  
 第131集 南小泉遺跡－第15次発掘調査報告書－（平成元年 3 月）  
 第132集 年報10（平成元年 3 月）  
 第133集 郡山遺跡Ⅹ－平成元年度発掘調査概報－（平成 2 年 3 月）  
 第134集 仙台平野の遺跡群Ⅸ－平成元年度発掘調査報告書－（平成 2 年 3 月）  
 第135集 富沢・山口遺跡(2)－富沢遺跡50～56次・山口遺跡10～12次－（平成 2 年 3 月）

- 第136集 下ノ内遺跡－仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ－（平成2年3月）  
 第137集 茂庭けんとう城・東館跡発掘調査報告書（平成2年3月）  
 第138集 大野田古墳群発掘調査報告書（平成2年3月）  
 第139集 赤生津遺跡発掘調査報告書（平成2年3月）  
 第140集 南小泉遺跡－第16～18次発掘調査報告書（平成2年3月）  
 第141集 南小泉遺跡－第19次発掘調査報告書（平成2年3月）  
 第142集 東光寺・青葉山A・富沢遺跡（平成2年3月）  
 第143集 年報11（平成2年3月）  
 第144集 仙台城址の自然（平成2年3月）  
 第145集 郡山遺跡－第84次・85次発掘調査報告書－（平成2年6月）  
 第146集 郡山遺跡Ⅺ－平成2年度発掘調査概報－（平成3年3月）  
 第147集 仙台平野の遺跡群Ⅹ－平成2年度発掘調査報告書－（平成3年3月）  
 第148集 鴻ノ巣遺跡第6次調査報告書（平成3年3月）  
 第149集 富沢遺跡－第30次調査報告書第1分冊－縄文～近世編－（平成3年3月）  
 第150集 富沢遺跡第35次発掘調査報告書（平成3年3月）  
 第151集 山口遺跡（平成3年3月）  
 第152集 富沢遺跡・泉崎浦・山口遺跡(3)（平成3年3月）  
 第153集 南小泉遺跡第20次発掘調査報告書（平成3年3月）  
 第154集 燕沢遺跡第4・5・6次発掘調査報告書（平成3年3月）  
 第155集 年報12（平成3年3月）  
 第156集 郡山遺跡－65次発掘調査報告書（平成4年3月）  
 第157集 杉土手・北前遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）  
 第158集 町田遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）  
 第159集 神柵遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）  
 第160集 富沢遺跡30次発掘調査報告書第2分冊－旧石器編－（平成4年3月）  
 第161集 郡山遺跡Ⅻ－平成3年度発掘調査概報－（平成4年3月）  
 第162集 仙台平野の遺跡群Ⅺ－平成3年度発掘調査報告書－（平成4年3月）  
 第163集 富沢遺跡・泉崎浦・山口遺跡(4)－70次～79次・下ノ内遺跡第5次発掘調査報告書（平成4年3月）  
 第164集 南小泉遺跡－21次発掘調査報告書（平成4年3月）  
 第165集 土手内遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）  
 第166集 沼遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）  
 第167集 年報13（平成4年3月）  
 第168集 大蓮寺窯跡発掘調査報告書（平成5年3月）  
 第169集 郡山遺跡Ⅼ－平成4年度発掘調査報告書－（平成5年3月）  
 第170集 仙台平野の遺跡群Ⅻ－平成4年度発掘調査報告書－（平成5年3月）  
 第171集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(5)－第78・80～85次発掘調査報告書（平成5年3月）  
 第172集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(6)－第57・58・63・66・69次発掘調査報告書（平成5年3月）  
 第173集 下ノ内浦遺跡第5次発掘調査報告書（平成5年3月）  
 第174集 安久東遺跡第3次発掘調査報告書（平成5年3月）  
 第175集 洞雲寺遺跡発掘調査報告書（平成5年3月）  
 第176集 年報14（平成5年3月）  
 第177集 郡山遺跡－第94次発掘調査報告書－（平成6年3月）  
 第178集 郡山遺跡Ⅾ－平成5年度発掘調査概報－（平成6年3月）  
 第179集 仙台平野の遺跡群Ⅼ－平成5年度発掘調査報告書－（平成6年3月）  
 第180集 大倉地区遺跡範囲確認調査報告書（平成6年3月）  
 第181集 北原街道B遺跡発掘調査報告書（平成6年3月）  
 第182集 中田南遺跡発掘調査報告書（平成6年3月）  
 第183集 仙台東郊条里跡発掘調査報告書（平成6年3月）  
 第184集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(7)－富沢遺跡第87次発掘調査報告書（平成6年3月）  
 第185集 今泉遺跡第3次発掘調査報告書（平成6年3月）  
 第186集 昭和北遺跡発掘調査報告書（平成6年3月）  
 第187集 愛宕山横穴墓群－第3次発掘調査報告書－（平成6年3月）  
 第188集 元袋遺跡第2次発掘調査報告書（平成6年3月）  
 第189集 年報15（平成6年3月）  
 第190集 高柳遺跡調査報告書（平成7年3月）  
 第191集 下飯田遺跡発掘調査報告書（平成7年3月）  
 第192集 南小泉遺跡第22・23次発掘調査報告書（平成6年10月）  
 第193集 伊古田遺跡－仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ－（平成7年3月）

- 第194集 郡山遺跡X V－平成6年度発掘調査概報－（平成7年3月）  
第195集 仙台平野の遺跡群X IV－平成6年度発掘調査報告書－（平成7年3月）  
第196集 南小泉遺跡第25次発掘調査報告書（平成7年3月）  
第197集 北目城跡発掘調査報告書（平成7年3月）  
第198集 上ノ原山遺跡発掘調査報告書（平成7年3月）  
第199集 六反田遺跡－仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書IV－（平成7年3月）  
第200集 四郎丸遺跡発掘調査報告書（平成7年3月）  
第201集 今泉遺跡第4次発掘調査報告書（平成7年3月）  
第202集 下ノ内浦遺跡第5次発掘調査報告書（平成7年3月）  
第203集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(8)－第88・89次発掘調査報告書－（平成7年3月）  
第204集 年報16（平成7年3月）

---

---

仙台市文化財報告書第204集

平成6年度  
年 報 16

平成7年3月

発行 仙台市教育委員会

仙台市青葉区国分町3-7-1  
仙台市教育委員会文化財課

印刷 株式会社 共新精版印刷

仙台宮城野区日の出町2-4-2  
TEL 236-7181

---

---

